

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 111

2024.October

完成現場報告 静岡市 / 『凜の家』

木の香りと優しい光に満ちた
心地よい暮らし



室内から吹き抜けを通して中庭を望む。中庭に面して大きな吹き抜けを設け、広間やダイニング、2階からも中庭の緑を楽しむ事が出来る。吹き抜けがある事で室内は一日中明るい光で満ちている。季節や時間で雰囲気が変わり、影や差し込む光も見ていて楽しい。

はなかつたのですが、展示場で色々な話に夢中になり、奥様が心配するほど長い時間話し込んでいた事を覚えています。Sさんご家族はお子さん3人の5人家族です。お子さんはまだ小さく、子育てがとても大変な時期でしたが、今後も静岡市に暮らす決心をして、具体的な土地探しをスタートされました。良さそうな土地を見つけると私に連絡をくれ、私も現地に行ったり行政に確認に行ったりして相談を受けていました。物件の土地を見たのですが、周辺環境や道の問題、また土地費用などの事もあり難航しましたが、土地の打ち合わせをしている中でパッと目に止まった土地情報を見て、気になる土地がありました。その土地についてSさんはすでにご存知だったようですが、購入の条件や手続きについて少し難しいそうだと諦めていたようです。ですが、その土地は角地である事、大きさや形、道路についても問題がなく、前向きに検討してみようという事になりました。古屋の撤去などは少し苦労がりましたが、更地になった敷地はとても開放的で気持ちのよい土地になりました。私も土地の形や方位、道路との関係から建物のイメージを膨らませ、今の住まいの原型となるプランを作成しました。プランもとても気に入っていたので、みんなの気持ちも盛り上がりながら具体的な家づくりがスタートしていきま



木の香りと優しい光に満ちた心地よい暮らし

完成現場報告

静岡市『凛の家』

文・写真／コロラボ 山崎健治

板塀に囲まれた中庭を見る。東南角地の利点を生かし、小さいながらも中庭をつかった。中庭には広めのウッドデッキを設ける事で、子供たちも安心して外に出る事が出来る。ウッドデッキの周辺には落葉樹を配置し、季節の変化を楽しめる庭は、生活の活力にもなっている。

今回ご紹介するのは、昨年の暮れに完成した静岡市のSさんご家族のお宅です。まだ住み始めて3ヶ月ですが、お庭が完成したと言うことで、早速写真撮影にお伺いさせて頂きました。Sさんごとの家づくりは、静岡市『TUBOMIの家』(コロラボ通信103号に掲載)の見学会でお会いした時からスタートしました。ご夫婦共に木の家に興味を持っており、特にご主人は仕事との関係から、ものづくりに対して深い関心があります。木をはじめとする材料の事や職人の技術の事など、住まいを建てるならじっくりとこだわった木の家を建てたいと話していました。また、当社が取り組んでいる板倉構法の家にも興味を持っていただき、家づくりを通して環境の事や職人技術の継承などについても関心を持っていました。また家づくりに対して具体的に

東側外観を見る。コロボオリジナルのマサ土掻き落とし壁とガルバリウム鋼板の外壁を上下に分けて仕上げ、板塀と戸袋風の板壁がアクセントとなっている。東側の道は人通りが多いが、板塀がある事でプライバシーが守られた生活をつくる事が出来る。



吹き抜けの中にある開放的なダイニングとキッチン。平面的な大きさだけでなく、吹き抜けなどをつくって立体的な空間を取り入れるとさらに開放感を感じる。また、吹き抜けがある事で生活空間の空気が対流し、心地よい室内環境をつくる事が出来る。

吹き抜けを通してつながる暮らし

Sさんのお宅は、広間とキッチン上部に広がる大きな吹き抜けが特徴です。部屋の広さは、床面積だけで決まるものではなく、吹き抜けなどの立体的な空間がある事でとても広く開放的に感じます。また、上部の窓から光が入る事で空間全体を明るくし、ハイサイド窓から差し込む光や、壁に映る植栽の影も美しく感じます。吹き抜けは天井が高い事で部屋の体積が大きくなり、自然と空気の循環が起きます。コロボ定番のシーリングファンを回す事で、さらに効果的に循環し、窓を閉めていても優しい風がとても心地よく感じられます。吹き抜けは空気が上部に上がってしまつて冷暖房が効きにくいだろうと思う方も多いと思いますが、住宅の断熱性能を高める事で室内の温度分布を小さくし、夏冬とも快適に過ごす事が出来ます。吹き抜けの欠点として、広間やキッチンなどの音が2階に上がる事が挙げられますが、核家族の生活の中ではそれほど不快に感じる事は少ないと思います。逆に2階にいても家族の気配が程良く感じられ、子育て世代の家族に向いているプランだと思えます。

開放感とプライバシー

Sさんの敷地は東南の角地となり、日当たりについてはとても恵まれた条件でしたが、逆に道路を通行する人からの目線や車の往来が気になる土地でもありました。広い土地であればそれほど気にならないと思いますが、限られた敷地の中では生活の中で大きな問題となり、開放感とプライバシーを両立させるための工夫が必要になってきます。この問題は住宅地に建つ多くの家に当てはまり、道路だけではなく、隣家などからも視線が気になって窓やカーテンが開けにくいという事例が多くあります。この問題に対し、コロボでは2m程の板塀を設置してプライバシーを確保する事を提案しています。事前にアルミ柱を建て、杉の板を専用のビスで固定しています。板と板の間を2cm〜3cmほど開け、風の通りも考えて設置しています。Sさんのお宅では、日当たりの良い東南の角に小さな中庭とデッキスペースをつくり、それらを囲むように2mの板塀を設置しました。板塀がある事で敷地の内部と外部を分け、デッキや中庭に居ると、すぐ隣が道だという事を感じないほど安心感のある空間をつくる事が出来たと思います。また、外観としても板塀は効果的で、軒裏や戸袋風の外壁と合わせて、木の魅力を外部にも現した住まいになっています。



2階子供室から吹き抜けを見下ろす。2階から見ると、吹き抜けを通して1階と2階がワンルームでつながっている様子がよく分かる。どこにいても家族の気配が感じられ、木の優しい雰囲気と合わせて、安心感に包まれた空間となっている。



ソファコーナー 4.5帖の空間にL型にソファを造り付けた。ソファの下には奥行き深い引き出しを4つ設け、子供たちのおもちゃもスッキリと収納できるスペースとなった。ソファコーナーは家族みんなのお気に入りのスペースで、少し奥まった落ち着いた雰囲気心地よい。



畳コーナー ダイニングとキッチンに近い位置に設けた2畳の畳コーナー。子供たちのスタディースペースとして設けた空間だが、洗濯物をたたんだりゴロツとしたりと、生活の中の様々なシーンで使えるコーナーとなっている。畳スペースは小上がりになっているので、ちょっと腰掛けるにもちょうど良い。

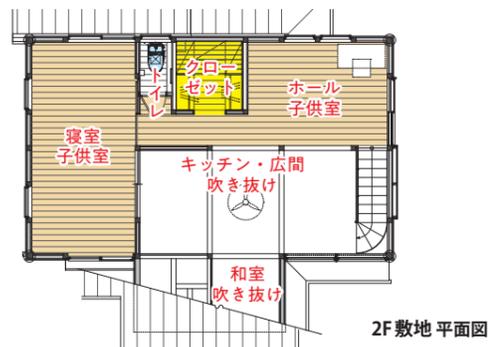
ワンルームの中に 心地よい居場所をつくる

私が住宅設計を行い始めた30年程前は、家の間取りといたら居間と各部屋を廊下で分けたプランが主流でした。家族構成も今と違い、2世帯、3世帯の住まいが多かった事も関係すると思いますが、とにかく廊下が長く、寝室や水廻りなどの各部屋は廊下を通して移動する事となり、子供部屋も廊下から階段を上がり1人1部屋つくる事が多かったと思います。このプランの場合はプライバシーを確保出来る反面、思春期の子供は部屋にこもってしまう事が多くなり、親と子の交流が取りにくかったようにも思います。また、大きな部屋や吹き抜け、区切りのない間取りは冷暖房の面からも敬遠され、個室をつくる事が常識となっていました。私が独立をした20年程前からだんだんとプランが変化し、リビング階段、という言葉を聞くようになりました。名前の通りリビングに階段を設け、子供がリビングを通って自分の部屋に行く動線をあえてつくるようになりました。ですが、形だけの動線は上手く機能せず、結果的にはリビングが通路になってしまい使いにくいプランになる事もありました。設計者も試行錯誤を続け、また、核家族化や住まいがコンパクトになってきた事も加わって、だんだんと廊下の無いプランが増え始めまし

た。廊下のないプランは、リビングがホテルのロビーの様な機能となり、ソファやテーブル、または畳コーナーやスタディコーナーなどの居場所をつくり、家族みんなが同じ空間で心地よく過ごせる間取りが生まれてきました。Sさんのお宅も同様に、ワンルームの空間の中に畳コーナーやソファコーナーを設け、2階もなるべく仕切らずに子供が成長するまでは誰もが自由に使えるホールを設けるなど、心地よくてフレキシブルに対応出来るスペースをつくりました。畳コーナーで子供が宿題をやったり洗濯物をたたんだり、ソファコーナーでテレビを見たりゴロツとくつろいだりと、それぞれの気分や目的で利用出来、それでいて家族みんなの気配を感じる空間が出来たと思います。Sさんご家族もお子さんの成長に合わせて変化していくと思いますが、伸び伸びとしたワンルームのこの住まいを見ていると、この家で育つ子供たちの未来が楽しみです。



全体としてはコンパクトな住まいだが、ワンルームの中にソファコーナーや畳スペースを取り込み、とても開放感を感じる室内となった。大きな窓から差し込む光を見ているだけでも心地よく、優しい光に満ちた住まいになった。



仕様内容

家族構成	家族5人
敷地面積	148.78㎡
建築面積	67.84㎡
延べ床面積	98.77㎡
構法	落し込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角タテ貼・マサ土掻き落し仕上げ・杉赤目透かし貼
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、桧(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	杉落し込み板現し・漆喰塗り・青森ヒバFJ本実板張り
床	栗本実板・青森ヒバ本実板 厚15mm、杉本実板 厚12mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアーライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：サーモタイル)
竣工	令和5年12月

毎日を快適に暮らすための工夫

住まいは毎日家族が暮らす場所。豪華な内装や高い性能もいいけど、暮らしやすい間取りや心地いい素材選びも大切です。Sさんが選択した素材や工夫をご紹介します。



子供室 4.5帖の子供室をつなげて今は9帖の寝室として利用している。将来は仕切りを設けて子供室として利用する予定。



2Fホール 将来の子供室として設けたが、今はソファを置いて、ちょっとしたリラックススペースとして使っていると話してくれた。



キッチン 1FLより一段下げて土間床のキッチンをつくった。土間床は冷たく硬いイメージがあるが、蓄熱してとても快適だと話してくれた。土間は専用の塗装を行うことでメンテナンスや肌ざわりがよくなり、コラボの定番となっている。



浴室 サーモタイルと青森ヒバでつくる木のお風呂。青森ヒバの香りが心地よく、毎日の疲れを癒してくれる。



洗面台 5人家族に対応した広めの洗面台を製作した。大きな鏡や収納棚など、これからの子供の成長を考えて設計した。



サンルーム 2帖のスペースに洗濯機と物干しを設けたサンルーム。杉板に囲まれ更に大きな窓から光が入り、洗濯物もよく乾くと喜んでいただいた。



トイレ 手洗いカウンターを設けた少し広めのトイレ。床はサーモタイル、壁の一面は静岡市からのプレゼント材(杉本実板)を使用した。

快適に暮らす毎日

完成して8ヶ月が経過し、冬から春、夏と季節は移りました。まだ慣れない事もあるけど、柔らかく明るい光や心地よい風を感じ、とても快適に過ごしていると喜んでいただきました。少し心配していたキッチンの土間も快適で、冬は思ったほど冷たく感じず、夏はとても気持ちがいい。何と云っても土間の感触が心地よく、この床にして良かったと感想を聞かせてくれました。駐車場から繋がるキッチンは、奥さんの車が近くにあるので、買い物の搬入もしやすいと喜んでいただきました。また、お子さんが3人だと毎日の洗濯物が多くて心配していましたが、物干し専用のサンルームがあるので、ストレスなく洗濯物を干せ、よく乾いて助かると話してくれました。その他、子供たちも元気に楽しく過ごしていて、階段を椅子と机代わりにして本を読んだり、お気に入りのソファで遊んだりくつろいだりしていると聞きました。3人のお子さんの毎日の生活はとても忙しいと思いますが、空間の快適性に加えて、動線や使い勝手などにストレスがなく生活していただけているようで私も嬉しく思いました。土地の決定から一緒に行かせていただいた家づくり。家は完成しましたが、子供の成長と共にまだまだ変化していくと思います。今後の成長と変化を楽しみにしています。

HAIR の mur! mur!

そねりさの髪と暮らしとおしゃれの塩梅 vol.01



mur mur design ってなに？

こちらでコラムを任せていただきます、23年目に入る、生粋の美容師そねりさです。

少しかだけ私の美容師歴を紹介させていただきます。地元の美容学校を卒業後、尊敬する師の元、ヘアデザインを8年ほど追い続けました。その後ノマド美容師として、日替わりで様々な美容室を経験し、海外でヘアデザイナーを少々経験後、ふとした縁で静岡に来て、新しい美容道を歩むこと10年が過ぎました。

今、私は2023年春分より、「自分の髪を好きになる、あなたらしいヘアスタイルと一緒に探しながら、いい塩梅で生きていく(「まあまあをつくる」)をビジョンに掲げ、私の大好きを詰め込んだマイサロンをオープンしました。ここでは、従来のヘアサロンに通う中で、ちょっと疲れてしまうこと(うまく髪型を伝えられない、頭皮がしみる、腰が痛い、その場に合わせた会話などにフォーカスをあて、髪を通して、ライフステージの変化を楽しみながら、心地よい暮らしの一部になることを大切にしています。このコラムや mur mur での営みを通して、あなたの大切な髪生を楽しむにぴったりの美容師、サロン選びの手引きになれば幸いです。

○ 髪の手入れ - 自家製ヘアフレグランス -

湿度の高い梅雨時期には広がる髪をまとまりやすく、北風の強い乾燥が気になる寒い時期にはパサツとする髪を艶やかに仕上げてくれる、季節や気分に合わせて使う自家製ヘアバームです。何もつけない髪よりも、ちょっとおしゃれな質感に変化します。季節に合わせたハーブからゆっくりと抽出する植物性オイルに県産ミツロウ、フェアトレードのシアバター、エッセンシャルオイルの配合で、安心してお使いいただけます。お気に入りの香でお楽しみください。

● ハーブの手入れ - 金盞花 -

カレンデュラは抗菌、抗炎、防腐効果があり、火傷、傷の治癒や日焼けの鎮静まで幅広く、皮膚のガードマンという総称がぴったりな美肌ハーブです。化粧水やオイル、クリームにも幅広く応用されていますが、花びらをお茶やサラダに混ぜ、食用としても気軽に楽しめます。天体という「太陽」のハーブに属し、怒りや短気などの感情を和らげ、とげとげしい自分を滑らかに整えてくれる効果があります。女性特有のPMS前のイライラや肝臓の解毒にも効果大です。

髪と暮らしのいい塩梅を見つける美容室 **mur mur design**

[OPEN] 9:00~18:00(ご予約優先)
日曜日定休

[SNS] Instagram : @murmurdesign_risasono



LINE ID : https://lin.ee/cGF3eql
★ご予約・お問い合わせはLINEにて



HAND WORKS FACTORY



北欧家具と民藝を愛する作り手が、長く愛用される家具を丁寧に製作しています。工房のコンセプトは“timeless basic”。無垢材を、金具を用いずに木組みだけで接合し、体に安全なオイルで仕上げています。さり気なくも、雰囲気のあるデザインを目指し、日々研究を重ねています。日本民藝館展にも挑戦し、入選しています。製作に先立ち、お客様との打ち合わせを大切にしておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

[住 所] 焼津市大島994-10
[TEL] 080-5135-0650
[OPEN] 10:00~18:00
[定休日] 日曜日(事前連絡で開店可能です)

[SNS] Instagram: @hand.works.factory



蕎麦処きしがみ



当店は、静岡市街地より車で西へ20分の宇津ノ谷という、四季折々の風景が楽しめる静かな山あいの集落にあります。お召し上がりいただく蕎麦は、全て、小麦粉等のつなぎを使わない手打ちの十割そばです。旧東海道の息遣いを感じながら、のどごしがさわやかな細打ちの十割そばをお楽しみいただけます。古いまちなみを散策しながら、そばを一枚いかがですか？

[住 所] 静岡市駿河区宇津ノ谷232-2
[TEL] 054-258-5664
[OPEN] 11:00~14:00 (LO.)
[定休日] 毎週月曜日・火曜日(祝日は営業します)

[SNS] Instagram: @10soba.kishigami
[URL] http://www.kisigami.com/



「ココラボ設置店」より...



「KoKolab」 Facebookページ



Instagram @kokolab.ie



発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



【購読を希望されます方へ】

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

暑い夏も終わりかと思ったら、9月に入っても厳しい
残暑が続きましたね。現場仕事では暑さがとても堪
え、職人も空調服を着たり水分を何度も補給したりと
とても大変でした。そんな中でもコツコツと作業を進
めてくれ、真剣に家づくりに向き合ってくれています。
住宅会社にいた頃は現場の職人の顔が見えず、誰がつ
くってくれているのか？どんな仕事をしてきている
のか？任せておけば大丈夫だろう…どこか他人事
でした。ですが、現場に携える人、職人によって住ま
いは全く変わり、雨の養生や掃除、精度や見えなくな
ってしまう箇所をつくり方など、つくる人の技量や考
え方などによって大きく変わってきます。住宅会社選
びの中で、是非造り手の顔が見える関係も重要なポ
イントとして考えていただきたいと思います。(山崎健治)

こころばの家
静岡(地図)



『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29

電話 : 054-270-7658

こころばの家
島田(地図)



『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4

電話 : 0547-54-4556

🏠 島田市『しろの家』構造現場見学会を行います。

長年考えた家づくり。構法や性能、素材や間取り、考えれば考えるほど悩み、様々な住宅会社や設計事務所を見てきたTさん。でもやっぱり建てたい家は木の家で、木の香りや優しい肌ざわりが忘れられないと話してくれました。そんなTさんが選んでくれた板倉の家、敷地やコストなどの制約に立ち向かいながら、家族みんなが楽しく感じられる住まいをつくっています。

◆ 日時 : 2024年12月上旬(日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所 : 島田市

🏠 藤枝市『ふたばの家』完成現場見学会を行います。

藤枝市の閑静な住宅地に建築中のKさんは、仕事の関係で他県から藤枝市に移り住み、この土地がとても気に入って、アパート近くの土地を頑張って探しました。元々はマンション暮らしだったけど、住まいをつくるなら本物の木の家にしたいと当社を選んでいただきました。大きな吹抜けのある開放的な間取り、板倉構法の良さを引き出した室内空間など、木の家づくりをお考えの方にはとても参考になるお宅だと思います。年末の開催ですが、是非ご参加ください。

◆ 日時 : 2024年12月中旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所 : 藤枝市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第1土曜・日曜に、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。現場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的で無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、同じ木の家ではありますが、それぞれ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探す中で参考になればと思います。毎月第1土曜、日曜をオープン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。ホームページ内の申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

◆ 日時 : 11月2・3日(土・日)

12月7・8日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所 : 『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29 電話 : 054-270-7658

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4 電話 : 0547-54-4556



こころばの家@静岡



こころばの家@島田